

「町田市文化芸術のまちづくり計画」の素案に係る市民意見募集結果及び  
計画の原案策定について

「町田市文化芸術のまちづくり計画」について、2025年9月22日から2025年10月21日まで意見募集を実施し、計画の原案を策定しましたので報告します。

1 市民意見募集結果について（P 2～参照）

- (1) 意見募集期間 2025年9月22日（月）～2025年10月21日（火）
- (2) 寄せられたご意見 34件
- (3) 結果の公表 2025年12月19日（金）
- (4) 内訳

項目	件数
(1) 計画全般	7件
(2) 計画の基本的な考え方	5件
(3) 目指す姿	1件
(4) 文化芸術プロジェクト	2件
(5) 施策と取り組み	19件
合計	34件

2 計画原案の策定について（P 12～参照）

「町田市文化芸術のまちづくり計画」は、市民やまちづくりに関わる方々が文化芸術を楽しみ、町田市への愛着やまちのにぎわいにつなげることを目的とした今後10年間の指針となる計画です。

本計画では、「文化芸術を育み、笑顔咲くまち～町田でLet's stART～」を目指す姿に掲げ、4つの方針（①きっかけをつくる、②場をつくる、③未来につなぐ、④共に創る）に沿って、施策・取組を展開していきます。

また、方針を横断した文化芸術プロジェクトとして、「まちだ Smile-link project（スマイルリンクプロジェクト）」を設定し、3つのプロジェクトを実行することで、文化芸術のまちづくりを強力に推し進め、目指す姿を実現します。

3 今後のスケジュール

2026年1月 計画（本編及び資料編）策定

「(仮称) 町田市文化芸術のまちづくり計画」の素案に対する  
市民意見募集 実施結果

2025年11月  
町田市文化スポーツ振興部文化振興課

## 「(仮称) 町田市文化芸術のまちづくり計画」の素案に対する市民意見募集実施概要

町田市では、文化芸術を活かしたまちづくりを推進するため、「(仮称) 町田市文化芸術のまちづくり計画」の策定を進めています。本計画の素案に対する市民の皆様からのご意見を募集し、その結果を以下のとおり報告いたします。

### 1 意見募集期間

2025年9月22日（月）～2025年10月21日（火）

### 2 意見募集方法

- 町田市ホームページに掲載
- 広報まちだ（2025年10月1日号）に掲載
- 以下の窓口で閲覧及び配布
  - ・市庁舎（10階文化振興課、1階広聴課・法務課（市政情報コーナー）
  - ・各市民センター、各駅前連絡所・コミュニティセンター
  - ・各市立図書館
  - ・町田市民ホール
  - ・和光大学ポプリホール鶴川
  - ・国際版画美術館
  - ・町田市民文学館
  - ・自由民権資料館

### 3 寄せられたご意見

13名の方（団体からの意見も1名と数えています。）から、34件のご意見をいただきました。

寄せられたご意見の要旨とそれに対する市の考え方は次のとおりです。なお、取りまとめの都合上、いただいたご意見は要約しています。

項目	件数
(1) 計画全般	7件
(2) 計画の基本的な考え方	5件
(3) 目指す姿	1件
(4) 文化芸術プロジェクト	2件
(5) 施策と取り組み	19件
合計	34件

## 4. ご意見の概要と市の考え方

以下に、市民から寄せられた主な意見と、それに対する市の考え方をまとめます。

### (1) 計画全般

No.	ご意見の概要	市の考え方
1	(まちだ未来づくりビジョン2040の)基本計画がライフステージごとにまとめられているが、この計画はライフステージに沿ったまとめとなっていないのはなぜか。	まちだ未来づくりビジョン2040の基本計画部分において、文化芸術は政策7（ありのまま自分を表現できるまちになる）に掲げており、全世代に向けた政策と位置付けています。 同政策においては、いつでも、どこでも、だれでも、あらゆる文化芸術を楽しむまちになることをを目指しており（施策7-2）、ライフステージに関わらず、誰もが文化芸術に触れる機会をつくることや、文化芸術に親しめる環境をつくっていくこととしているため、本計画ではライフステージに沿ったまとめ方とはしておりません。
2	基本資料は末尾でいいので付けてほしい。文化施設位置図や市民センター、学校位置、町田周辺の芸術関係の大学、周辺市の芸術関連施設など、プロの芸術関係人（団体登録しているとか構成員であるとか公表している個人・団体など）	本計画においては、別添として資料編を作成し、公表する予定です。 ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
3	P3のはじめにの文は、何を意味しているのか。この計画のまとめなのか。	本計画3ページ目の「はじめに」の文章は、文化芸術のイメージや効果を伝えるとともに、計画内で大切にしたい言葉の要素を抜き出し、町田市が目指すまちの姿をわかりやすくお伝えすることを目的としています。
4	P7の策定の目的にある「町田市基本構想・基本計画『まちだ未来づくりビジョン2040』」が何であるか、ここに注記が必要と思う。	計画内で注記が必要な文言については、記載してまいります。
5	アート活動している人は活動していない人に比べて寿命が7年ほど長いという研究結果が出ていると聞いたことがある。併せて幸福度も高いようなので文化芸術に関わる計画はとてもいいと思う。	文化芸術は、人々の暮らしに潤いや彩りを添え、心を豊かにし、喜びや幸せを感じるだけでなく、人と人とのつながることや、多様性を認め合うことに加えて、支え合いの土壤を育むと言った、様々な役割を果たしていると考えています（本計画3ページ目を参照）。

No.	ご意見の概要	市の考え方
6	町田と言うと文化芸術というよりもスポーツやお祭りのイメージが強いが、この計画が進められれば、ますます町田の魅力が増すと思う。また、町田の良さでカジュアルなイメージがあるが、文化芸術も堅い感じではなく気軽に親しめるようなものが出来たら良いと思う。	文化芸術のまちづくりにあたっては、本計画に基づいて、誰もが気軽に文化芸術に触れ、親しめる環境をつくることで、文化芸術を楽しみ、町田市への愛着や、まちの賑わいにつなげてまいります。 ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
7	多様性を尊重する社会が求められる時代なので、文化芸術についても多様性を尊重し合える環境を少しずつ築く必要があると思う。 自分は聴覚障がいを持っており、健常者と一緒に文化芸術を楽しみたいのが本音である。例えば、音楽。音を聞くことができない人が健常者と一緒に楽しむ方法を考えることが必要であり、今回の計画ができたことを機会に進めていけたらいいなと思う。 逆に、健常者が手話を知りたい場合、手話劇や手話ダンスを実施するのもありだと思う。お互いに障がいの違いを知り合うことで、文化芸術を楽しみ、町田市への愛着やまちのにぎわいにつなげていきたい。	年齢や国籍の違い、障害の有無、文化芸術のスキル等に関わらず、全ての方に文化芸術活動や鑑賞、体験の機会が得られるまちづくりを進めてまいります。

## (2) 計画の基本的な考え方

No.	ご意見の概要	市の考え方
8	市・企業・市民（団体）の役割が分かりにくい。	本計画の素案10ページ目に、各関係主体に期待することとして、それぞれの役割をまとめています。 ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
9	本計画における文化芸術範囲とは、基本法に例示されているものをホントに超えているのか、なぜそれを町田市はこの計画に含めるのか。囲碁将棋など記載されているがチェスなど外国で流行っているものは含めないのか。日本に伝わるものだけとするのか。	本計画は、文化芸術によって“まちの賑わいを更に生み出すための「まちづくり計画」”として、文化芸術の範囲を広く捉え、新しいアートやカルチャーをはじめ、その他多様な取組も積極的に受け入れることとしています。 記載の内容については例示であり、特定の文化芸術を排除する意図はありません。

No.	ご意見の概要	市の考え方
10	P10の市の役割で「情報を一元的に発信し」とあるが、発信は民間など役所以外に任せたほうがうまくいくのでは。役所の役割は「情報を一元的に集約し活用しやすいように提供する」くらいでいいのでは。	「情報を一元的に発信すること」につきましては、市の重要な役割の一つと捉えており、現在もSNS等を活用して文化芸術の魅力を積極的に発信しております。今後も、より効果的な情報発信を目指し、民間との連携も図りながら、より多くの方々に情報を届けられるよう努めてまいります。 ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
11	昨今デジタル化が進み、インターネットを通じて音楽や絵を楽しむことができるようになったが、伝統的な絵画や芸術作品を、デジタルを利用して楽しむことと、デジタルを通してネット越しに楽しむのは味わい方が全く違い、そのすみ分けや融合のバランスが難しいと感じる。「ネット・スマート・SNS等が生み出す新たなカルチャー」を楽しむ人は、ツールさえあれば場所を選ばずできるものなので、町田市ならではの楽しみ方があると、新たな文化芸術としてさらに活気づくのではないかと思う。	本計画は、文化芸術によって“まちの賑わいを更に生み出すための「まちづくり計画”として、文化芸術の範囲を広く捉え、町田市ならではの景観や暮らしのライフスタイルをはじめ、その他多様な取組も積極的に受け入れることとしています。 文化芸術のまちづくりにあたっては、市民やまちづくりに関わる方々が文化芸術を楽しみ、町田市への愛着やまちのにぎわいにつなげていけるよう、計画的にまちづくりを進めてまいります。 ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
12	市役所は縦割り的な印象が強いが、関連する分野や計画との連携について示されていました、町田市への愛着やまちのにぎわいにつなげていくことを掲げていたり、文化の分野のことだけでなく、市全体として文化芸術で盛り上げていこうとしていることに好感を持てた。	文化芸術のまちづくりにあたっては、観光や福祉、教育その他の関連分野や、多様な主体との連携を強化し、計画的にまちづくりを進めることをもって、市民やまちづくりに関わる方々が文化芸術を楽しみ、町田市への愛着やまちのにぎわいにつなげています。

### (3) 目指す姿

No.	ご意見の概要	市の考え方
13	P11の「文化芸術を育み・・・」とのキャッチフレーズの内容が新たに出る、今までの流れと関連性が分かりません。目指す姿に込めた想いとは、どこから出てきたのか。	本計画に掲げる、目指す姿「文化芸術を育み 笑顔咲くまち～町田で Let's start～」は、市の現状や課題、市の特色や子ども・若者をはじめとした市民の皆さんへのヒアリングなどの結果を受け、府内検討委員会や町田市文化芸術のまちづくり計画策定検討委員会における議論を踏まえて定めています。

#### (4) 文化芸術プロジェクト

No.	ご意見の概要	市の考え方
14	P17に「プロジェクト」との記載があるが、プロジェクトの意味や位置は。	プロジェクトについては、計画素案の25～27ページ目に記載のある、「まちだ Smile-link project」を意味しています。本計画の目指す姿の実現に向けて、文化芸術活動によって生まれた笑顔の輪を広げ、未来につなげていくため、方針を横断して重点的に実施するものであり、文化芸術のスタートを踏み出せるよう、きっかけをつくりていきます。
15	P26のProject Aのまちだ〇ごと大作戦18-20 <sup>+1</sup> やまちだ若者大作戦などは、どこかに中身を説明してくれないと分からぬ。	計画内で注記が必要な文言については、記載してまいります。

#### (5) 施策と取り組み

No.	ご意見の概要	市の考え方
16	(本計画素案P31、P35、P39、P43ページの)下のほうにある絵の中にやりたいことのコメントがちりばめであるが、市民のニーズとしてこれらをもっと注目してあげるほうがいい計画になると思う。	本計画では、各方針に沿ったまちづくりを進めることで、どのようなことができるようになるかについて、市民の皆さんにわかりやすくお伝えするため、各方針記載ページに「方針に沿ったまちづくりでふくらむ、いいこと」の欄を掲載しています。ご意見につきましては、今後の計画冊子作成の参考とさせていただきます。
17	せりがや会館は2027年3月末日に閉館すると聞いたが、多数の文化団体が集会場として利用しているため、代替用の施設を早期に設営してほしい。	本計画においては、文化芸術活動のための練習の場や制作の場を増やす取り組み（方針2場をつくる）を進めてまいります。ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
18	文化芸術を育むための土台は義務教育の時期に本物に触れることだと考える。まずは既存の施設を最大限に活用し、義務教育期間中に授業の一環として最低でも必ず1回は本物に触れる機会を提供できるようにできないか。	本計画においては、誰もが気軽に鑑賞・体験できる機会を確保する取り組み（方針1きっかけをつくる）や子どもたちの文化芸術を「する」体験を増やし未来に育んでいく取り組み（方針3 未来につなぐ）を進めてまいります。ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。

No.	ご意見の概要	市の考え方
1 9	夏休みの自由研究で町田に関するテーマを出し、必ずどこかの施設を訪問し、レポートなどにまとめるのも一つかと思う。文化芸術は基礎的な教養があってこそ花開くと思うので、子どもたちへの教育に力を入れて欲しい。	文化芸術のまちづくりにあたっては、小・中学校や教育機関との積極的な連携が重要なことと考えております。 また、本計画においては、誰もが気軽に鑑賞・体験できる機会を確保する取り組み（方針1 きっかけをつくる）や子どもたちの文化芸術を「する」体験を増やし未来に育んでいく取り組み（方針3 未来につなぐ）を進めてまいります。 ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
2 0	現在の市民ホールの利用状況や集客効果が充分であるのかを精査し、その上で更に文化芸術ホールが本当に必要であるのかを市民に納得できる説明をしてほしい。	ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
2 1	対象者に来て貰うのではなく、こちら（活動者側）から対象者のところに出向いて地域の民俗文化を披露する機会をアレンジ頂けると良いと思う。 具体的には、小学校高学年（あるいは中学生）を対象としたイベントの機会などに地元の民俗文化や歴史・背景を紹介する機会を作れるようになると良いと思う。	本計画においては、誰もが気軽に鑑賞・体験できる機会を確保する取り組み（方針1 きっかけをつくる）や子どもたちの文化芸術を「する」体験を増やし未来に育んでいく取り組み（方針3 未来につなぐ）を進めています。 ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
2 2	幼少期に体験したこと、感じたことは生涯を通じて自身の根幹ともなる部分であると感じているので、小中学生だけでなく、幼稚園保育園世代の子どもたちにも文化芸術に触れる機会を多く作るべきと思う。	本計画においては、子どもたち（小中学生だけでなく、幼稚園保育園世代の子どもたち）の文化芸術を「する」体験を増やし未来に育んでいく取り組み（方針3 未来につなぐ）を進めています。 ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
2 3	国際版画美術館のような世界的に見ても貴重である美術館をもっと学校の授業等で活用できるようにすることで、より多くの子どもたちの心に残り、生涯にわたり地元町田が文化芸術のまちであるという認識持てるのではないか。早期の工芸美術館のオープンに期待している。	文化芸術のまちづくりにあたっては、町田市の特色となる特徴的な施設も活かしながら、まちの賑わいを更に生み出すまちづくりを進めてまいります。

No.	ご意見の概要	市の考え方
24	有名なアーティストを呼ぶ企画もあると巻き込み力も増加し、より多くの人が文化芸術に触れるきっかけに繋がると思うので予算確保も期待している。緊急ではないが重要なことに注力することこそ、長い目でみて、より大きな発展に繋がると信じている。	本計画においては、文化芸術を身近に感じるイベントや、文化芸術大型イベント（「まちだ Smile-link project」Project B）を実施してまいります。 ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
25	日本の誇るべき書道文化は2026年の年末にユネスコの無形文化財に登録されることが予定されており、登録後は外国人観光客の体験希望や見学希望等、注目されることが予想される。そこで、発表の場として、駅前の公民館のスペースを大型展示施設にできないか検討してほしい。	本計画においては、活動の場を充実する取り組み（方針2場をつくる）を進めてまいります。 ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
26	市民が書や絵画を学び、その作品を展示して気軽に発表し、買物ついでに気軽に楽しめる発表の場も文化芸術に親しむには不可欠と考える。デパートなど商業施設の一部壁面を借用できるよう検討してほしい。	本計画においては、活動の場を充実する取り組み（方針2場をつくる）を進めてまいります。 ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
27	文化芸術を学ぶためのカルチャーは敷居が高く、きっかけとして、市で無料講座を解説してもらいたい。	本計画においては、誰もが気軽に体験できる機会を確保する取り組み（方針1きっかけをつくる）を進めてまいります。 ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
28	子どもたちに「美しい」文字を書くだけでなく、書は「自己表現の一つ」だということを伝えたいと思う。	本計画においては、子どもたちの文化芸術を「する」体験を増やし未来に育んでいく取り組み（方針3未来につなぐ）を進めてまいります。 ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
29	この先、より多くの人に文化芸術をたのしんでもらうためには、幼いころにいかに興味の種を蒔けたかが重要だと思う。成長したときに文化芸術の敷居が高いと感じさせないためにも幼少期の芸術鑑賞・体験を環境が整えられるとよいと考える。	本計画においては、誰もが気軽に鑑賞・体験できる機会を確保する取り組み（方針1きっかけをつくる）や子どもたちの文化芸術を「する」体験を増やし未来に育んでいく取り組み（方針3 未来につなぐ）を進めてまいります。 ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。

No.	ご意見の概要	市の考え方
3 0	P 3 9 の「方針に沿ったまちづくりでふくらむ、いいこと」の「子どもや若者に興味を見つてもらえる」は「持ってもらえる」の誤りではないでしょうか。	ご意見に基づき修正いたします。
3 1	<p>私は友人に観劇に誘ってもらったのをきっかけに舞台演劇に興味を持つようになったため、触れあい出会うきっかけはとても大切だと思う。方針1のきっかけをつくるは文化芸術に興味をもってもらうために、とても重要な要素だと思う。</p> <p>P 3 2 の取組①の「文化芸術を身近に感じるイベントを開催します」が、かつての私のように興味を持つきっかけとなるのはとても素晴らしいことだと思いますし、どのようなイベントになるのか、今からとても楽しみである。</p>	<p>本計画においては、文化芸術を身近に感じるイベント（方針1きっかけをつくる）や、文化芸術大型イベント（「まちだ Smile-link project」Project B）を実施し、新たなチャレンジや Re:スタートを踏み出せるような、きっかけをつくってまいります。</p> <p>ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
3 2	<p>子どもを持つ親として、家庭でもっと文化芸術にふれる体験をさせたいと思うが、YouTube など動画を見ることが多い子ども達を外に連れ出す難しさを感じている。</p> <p>計画の中で、誰もが気軽に鑑賞・体験できる機会の確保があるが、とても良い施策だと思う。特に、学校生活の中で鑑賞・体験機会があると、子どもも友達と一緒に体験できるので、より印象深く、興味を持ってもらうきっかけになると思う。</p>	<p>文化芸術のまちづくりにあたっては、小・中学校や教育機関との積極的な連携が重要なことと考えております。</p> <p>また、本計画においては、誰もが気軽に鑑賞・体験できる機会を確保する取り組み（方針1 きっかけをつくる）や子どもたちの文化芸術を「する」体験を増やし未来に育んでいく取り組み（方針3 未来につなぐ）を進めてまいります。</p> <p>ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
3 3	文化芸術を楽しむ素養を育むためには、子どもの頃からの経験が重要だと思う。しかし、最近では学校の先生の負担軽減のためか、音楽会などの学校行事を減らす傾向があると思うので、学校の先生たちの負担を考慮しながらも、学校と連携して、子ども達が文化芸術に触れる機会を増やす取り組みを期待している。	<p>文化芸術のまちづくりにあたっては、小・中学校や教育機関との積極的な連携が重要なことと考えております。</p> <p>また、本計画においては、誰もが気軽に鑑賞・体験できる機会を確保する取り組み（方針1 きっかけをつくる）や子どもたちの文化芸術を「する」体験を増やし未来に育んでいく取り組み（方針3 未来につなぐ）を進めてまいります。</p> <p>ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>

No.	ご意見の概要	市の考え方
3 4	<p>(団体として) 会員数や展示会出展数の減少が課題となっており、高齢化と若年層の会員不足がある。また、要因として会員の会費や出店費の負担や行事の開催が平日で現役世代が参加しにくいことが要因と考えておらず、団体の努力に加えて、市からのサポートも必要である。</p> <p>そこで、現役世代が参加しやすくなるよう、展示会の搬入を土日に行える仕組みの整備や、版画美術館へのアクセス改善として町田駅からのシャトルバスの復活をご検討いただきたい。また、出展費の負担軽減のため、市からの会場費等の補助もお願いしたい。さらに、子どもや若者が芸術に親しむ機会を創出し、世代を超えた文化活動の活性化を図る取り組みを、市が主導して進めていただければと思う。町田市も文化芸術の街づくりを目指すのであれば、版画美術館やフォトサロンなどコアになる施設をうまく活用して、すそ野を広げるような重層的な活動を市が先導して欲しい。</p>	<p>本計画の策定にあたり、文化芸術の活動者の高齢化や担い手不足、新規加入者不足が文化芸術のまちづくりにおいての課題と認識しています。</p> <p>そこで、本計画においては、誰もが気軽に鑑賞・体験できる機会を確保する取り組み（方針1 きっかけをつくる）や、活動の場を充実できるような取り組み（方針2 場をつくる）、次世代に文化芸術を継承していく取り組み（方針3 未来につなぐ）を進めてまいります。</p> <p>ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>

# 町田市文化芸術のまちづくり計画

## 原案

2025年●月

町田市

## — はじめに —

文化芸術は、人の営みの軌跡であり、  
ありのままの自分を表現するための術でもあります。

わたしたちの暮らしに潤いや彩りを添え、  
あるいは、心を豊かにし、喜びや幸せを感じるだけでなく、  
人と人とがつながることや、多様性を認め合うことに加えて、  
支え合いの土壤を育むといった、様々な役割を果たしています。

また、無限に広がるイマジネーションを喚起する創造の糧ともなり、  
生きる力や未来への希望を生む、人間活動そのものともいえます。

\* \* \* \* \*

このまちでなら

住む人も訪れる人も、文化芸術を自然と感じ、触れられる、  
文化芸術から生まれたつながりの温もりや賑わいを体感できる。

ある人は、これまで抱き続けていた“やってみたい”を叶え、成長していける、  
また、ある人は、ちょっといい街、ちょっといい暮らしを実感し、  
まちへの愛着を抱いて、住み続けたい、あるいは、何度でも訪れたいと思える。

町田市は、多様な主体とともに文化芸術の薫るまちづくりを進め、  
市内各地で色彩豊かな“笑顔”が咲き、賑わい続けるまちを目指します。

## 目次

1 計画策定の背景と目的 .....	16
(1) 策定の背景（社会状況の変化） .....	16
(2) 策定の目的 .....	17
(3) 計画の策定にあたって .....	17
2 計画の基本的な考え方 .....	18
(1) 計画の位置づけ .....	18
(2) 構成と計画期間 .....	18
(3) 文化芸術の範囲 .....	19
(4) 対象 .....	19
(5) 市の役割 .....	20
(6) 文化芸術に関わる各関係主体と期待すること .....	20
3 目指す姿 .....	21
4 町田市の特色と文化芸術の推進経過 .....	24
(1) 町田市の特色 .....	24
(2) 近年の文化芸術の推進経過 .....	26
5 現状・課題を踏まえた方針と施策 .....	28
6 計画体系 .....	30
7 文化芸術プロジェクト .....	31
～まちだ Smile-link project（スマイルリンクプロジェクト）～ .....	31
Project A 文化芸術で“みんなの夢”を叶える .....	32
Project B 文化芸術大型イベントの実現 .....	32
Project C 「文化芸術にぎわい創出エリア」の活性化 .....	33
8 方針に基づく取組 .....	35
◆プロジェクト／方針・施策・取組一覧 .....	36

方針1 きつかけをつくる .....	37
施策1 誰もが気軽に鑑賞・体験できる機会の確保.....	38
施策2 情報環境の拡充.....	39
方針2 場をつくる .....	41
施策1 施設の整備・活用.....	42
施策2 活動の場の充実.....	43
施策1 美術品や文化財の保存・活用.....	46
施策2 次世代への継承.....	47
方針4 共に創る .....	49
施策1 市民や団体等のチャレンジの創出 .....	49
施策2 企業等との共創による推進.....	49
9 計画の推進にあたって .....	51
(1) 庁内関係部署との連携・推進.....	51
(2) 「町田市文化芸術のまちづくり推進委員会」と施策・取組の評価 .....	51

# 1 計画策定の背景と目的

## (1) 策定の背景（社会状況の変化）

### ■文化芸術と様々な分野との連携が求められています

国は、2017年に文化芸術基本振興法を改正し、「文化芸術基本法」を施行しました。同法においては、文化芸術によって生み出される様々な価値を文化芸術の継承や発展、創造に活かせるよう、観光や福祉、教育その他の各関連分野との連携を配慮することを求めていました。また、こうした動きに伴って、文化芸術と他の関連分野との連携を進める法整備<sup>※1</sup>も進んでいます。

- ※1 2018年：「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」施行・・・障害者の文化芸術活動を幅広く促進するための法律  
「文化財保護法」改正・・・地方自治体が主体的に文化財を保護し、観光に活用できるよう改正  
2020年：「文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光の推進に関する法律」施行  
・・・文化資源の理解を深める機会を増やし、国内外からの観光客を誘致することで、文化振興、観光振興、地域の活性化という好循環を創出するための法律  
2022年：「博物館法」改正・・・博物館が地域の観光拠点となることを努力義務化。新たな業務としてデジタルアーカイブの構築を加える改正

### ■デジタル技術が浸透し、文化芸術がより身近になっています

デジタル技術の進展によって、美術館・博物館のバーチャルツアーやデジタル展示、オンラインコンサートや演劇など、オンライン鑑賞が普及し、地域や時間に制約なく誰もが手軽に楽しむことができるようになり、文化芸術に触れられる機会がより一層身近になっています。

一方、アーティストや文化芸術団体等がSNSで作品を広く発信し、ファンやコミュニティを形成することや、文化遺産や歴史的資料、芸術作品をデジタルアーカイブ化して、オンラインでのアクセスを可能にするなど、活動や創作物等をより広く発信できるようになっています。また、インパウンドが年々増加しており、日本の文化芸術を世界に発信するチャンスも訪れています。

### ■体験や特定の時間を重視するような社会に移り変わっています

個人の価値観やライフスタイルの変化によって、従来の物を所有する「モノ消費」から、体験やサービスを通じて得られる満足感や感動を求める「コト消費」へとシフトするとともに、旅行やイベントなど、特定の瞬間や限られた時間を特別なものにするような「トキ消費」も重視する社会に移り変わっています。

### ■新たな社会的つながりが生まれています

デジタル社会の進展によって、地域や地理的なつながりを基盤にしてきた、従来の地縁型コミュニティに加えて、共通の興味や趣味、価値観を共有する人々がオンラインやオフラインで集まり、多様な関心に基づいて交流する「テーマ型コミュニティ」といった新しい社会的なつながりが生まれています。

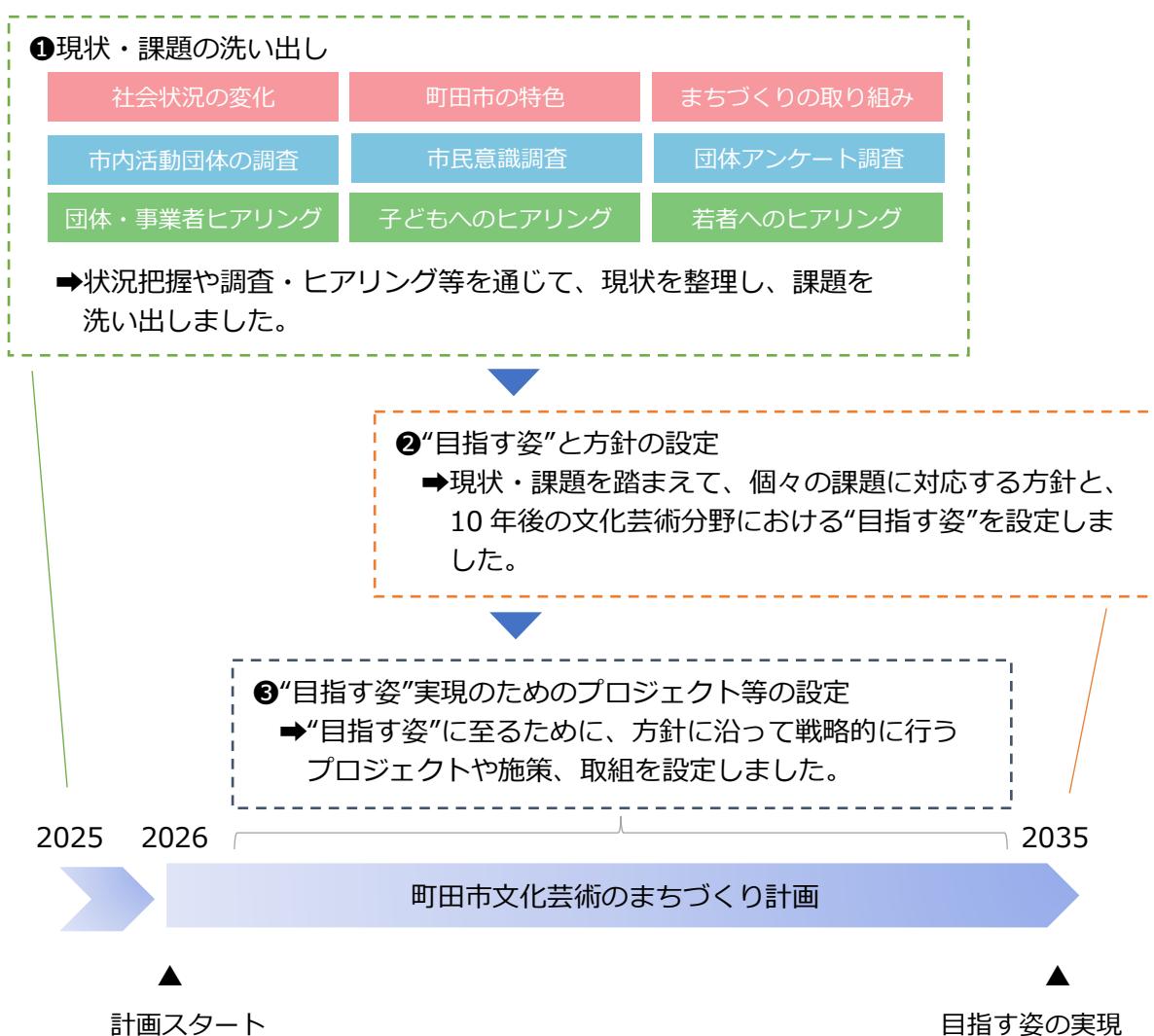
### ■企業の社会貢献活動が活発化しています

SDGs（持続可能な開発目標）やCSR（企業の社会的責任）の意識が高まる中、企業が文化や芸術を支援することで社会貢献を果たす「メセナ活動」が更なる広がりを見せています。こうした活動は、継続的に文化芸術活動を支援することに加え、企業と地域コミュニティとの連携・協力を通じて、持続可能な社会の実現に寄与し、社会と企業の双方にとって有益なものになっています。

## (2) 策定の目的

町田市基本構想・基本計画「まちだ未来づくりビジョン2040」に掲げる“なりたいまちの姿”に至るための政策（政策7 ありのまま自分を表現できるまちになる）の実現に向けて、施策（施策7-2 文化芸術に親しめる環境・機会を充実させる）を推進するため、観光や福祉、教育その他の各関連分野や、多様な主体との連携を強化し、計画的にまちづくりを進めるこもって、市民やまちづくりに関わる方々が文化芸術を楽しみ、町田市への愛着やまちのにぎわいにつなげていくことを目的として策定します。

## (3) 計画の策定にあたって

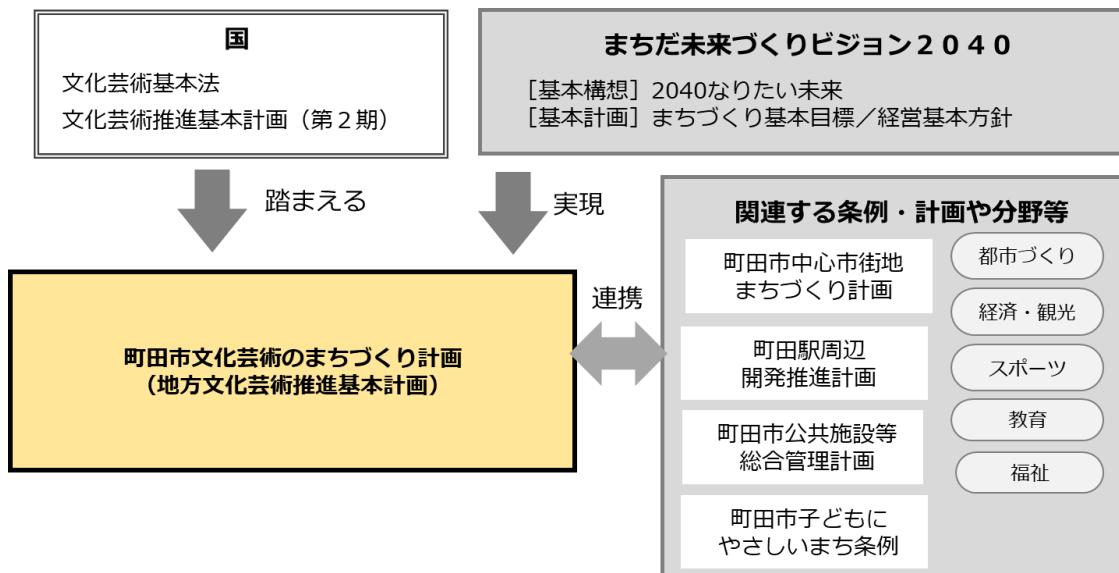


## 2 計画の基本的な考え方

### (1) 計画の位置づけ

文化芸術基本法を踏まえるとともに、まちだ未来づくりビジョン2040を実現するため、関連する条例や個別の計画等との連携を図りながら事業を推進します。

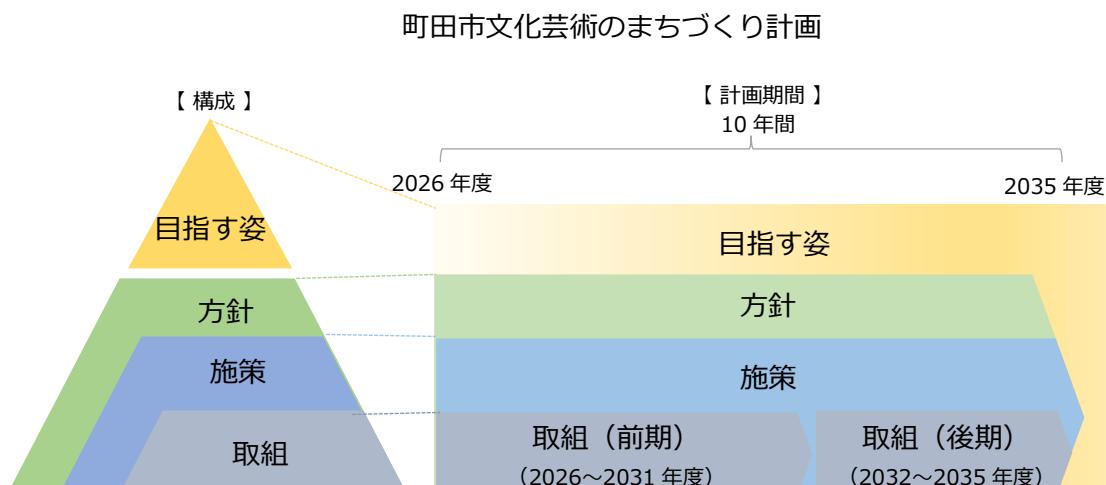
なお、本計画は、文化芸術基本法第7条の2に基づく地方文化芸術推進基本計画として策定します。



### (2) 構成と計画期間

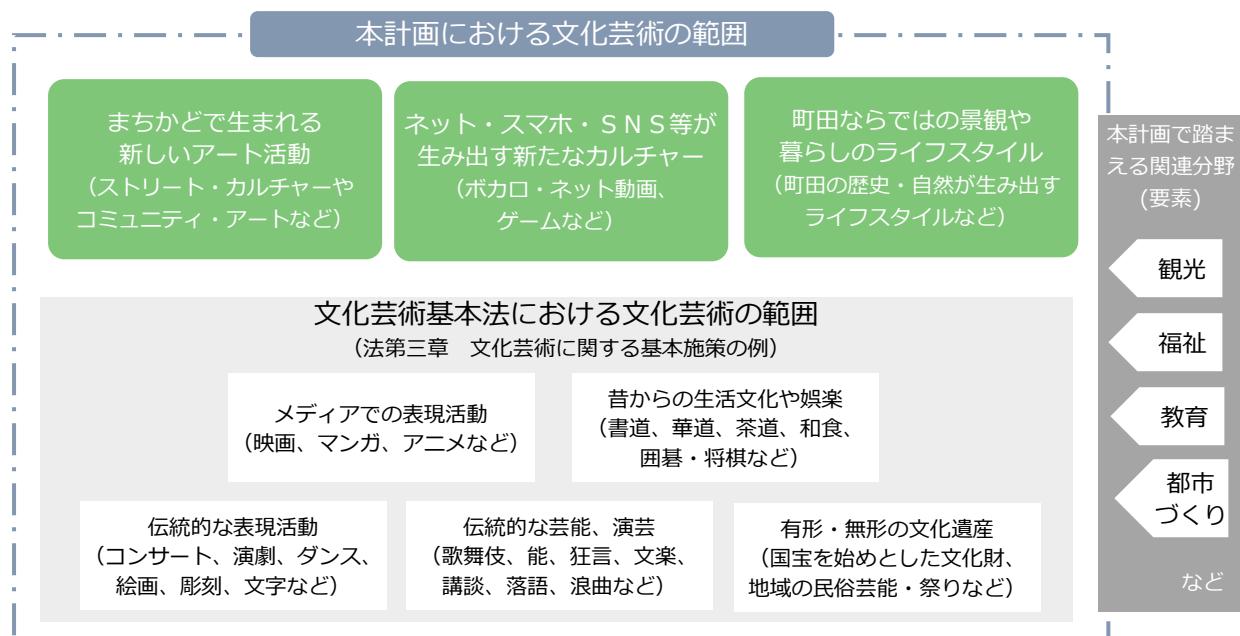
本計画は、「目指す姿」、「方針」、「施策」、「取組」で構成し、目指す姿の実現に向けて、方針に沿って施策や取組を展開します。

また、計画期間は、2026年度から2035年度までの10年間とします。なお、施策に基づく「取組」については、前期（2026～2031年度）と後期（2032～2035年度）に分け、前期終了時に見直します。



### (3) 文化芸術の範囲

本計画は、文化芸術によって“まちの賑わいを更に生み出すための「まちづくり計画」”として、文化芸術基本法に規定されている文化芸術の範囲に加えて、町田ならではのライフスタイルや、まちかどで生まれる新しいアート、デジタルによる新たなカルチャーなど、多様な取組等も積極的に受け入れられるよう、文化芸術を広く捉えます。



### (4) 対象

町田市民を基本とし、町田市に関わる方や訪れる方も含めた全ての方<sup>※2</sup>を対象に、文化芸術活動や鑑賞、体験する場の提供等を展開していきます。

<sup>※2</sup>年齢、国籍の違いや障がい、文化芸術のスキルレベル等に関わらず、全ての方

## (5) 市の役割

市は、本計画で定める“目指す姿”的実現に向けて、計画的に文化芸術のまちづくりを進めるためのプロジェクトや施策を実施します。加えて、市内で行われる文化芸術活動において、(6)に掲げる関係主体のほか、町内会・自治会や福祉団体、まちづくり関連団体等と横断的な連携を図り、文化芸術活動を支えていくとともに、協力して町田市の文化芸術を発展させていきます。

また、文化芸術に関する情報を一元的に発信し、文化芸術の魅力を市内外に広く伝えていきます。

## (6) 文化芸術に関わる各関係主体と期待すること

“目指す姿”的実現に向けた文化芸術のまちづくりにあたって、各関係主体が、それぞれの分野を越えて積極的に連携していくことを期待しています。

関係主体	期待すること
文化芸術団体	<ul style="list-style-type: none"><li>●文化芸術活動の積極的な展開・既存の取組の拡充</li><li>●市事業への協力、文化芸術に関わる各種団体との連携・協働 など</li></ul>
経済関係団体	<ul style="list-style-type: none"><li>●文化芸術事業と中心市街地の再開発事業との連携によるぎわいづくり</li><li>●市の集客力アップのための連携・協働（商店会、商業施設などとの調整含む）など</li></ul>
観光関係団体	<ul style="list-style-type: none"><li>●文化芸術事業と観光事業との連携によるぎわいづくり・イメージづくりなど</li></ul>
小・中学校	<ul style="list-style-type: none"><li>●児童・生徒への文化芸術体験機会や情報の提供</li><li>●児童・生徒の芸術作品展示イベントへの参加</li><li>●文化系部活動の地域連携、アーティストや指導者の活動の受け入れ</li><li>●STEAM 教育の一環として、文化芸術を通じて児童・生徒へ問題解決能力、創造力、表現力を培う学びの実施 など</li></ul>
教育機関（高等学校・大学等）	<ul style="list-style-type: none"><li>●生徒・学生への文化芸術情報の提供、保有する文化芸術の専門性の提供・連携</li><li>●各地域に根差した文化芸術機会の提供、創出 など</li></ul>
文化芸術外郭団体	<ul style="list-style-type: none"><li>●文化芸術活動の展開と市内外への普及</li><li>●市事業実施への協力</li><li>●文化芸術に関わる各種団体との連携・協働の促進</li><li>●アーティストや指導者の紹介 など</li></ul>
事業者（企業）	<ul style="list-style-type: none"><li>●文化芸術活動への協力・連携によるまちづくりの後押し</li><li>●まちの賑わい創出による持続可能なまちづくりの推進</li></ul>

# 文化芸術を育み 笑顔咲くまち

## ～町田で Let's stART～

\* 目指す姿に込めた想い \*

### <文化芸術を育み>

「育む」の言葉には、文化芸術活動のはじめの一歩を踏み出すことや新たに挑戦することで技術的に上達していく、感性を豊かにしていくという意味を込めています。

また、それらに加えて文化芸術に親しむきっかけとなる鑑賞の機会や活動をはじめやすい環境を整える意味のほか、これまで形作ってきた文化芸術を未来に継承していってもらいたいといった想いも含んでいます。

### <笑顔咲くまち>

「素晴らしい作品に出会ったとき」、「できなかったことができるようになったとき」、「作品制作や練習の成果が形になるとき」、私たちは、活力や充実感、達成感を得ます。そして、その先には、一人ひとりの素敵な“笑顔”が花開き、広がっていきます。

本計画を着実に進めていくことで、10年後の町田市では、市内各地で色彩豊かな“笑顔”が咲き、賑わい続けるまちをつくっていくという想いを込めています。

### 副題：～町田で Let's stART～

文化芸術の鑑賞や活動にあたり、思い立ったタイミングが絶好のはじめ時です。文化芸術を鑑賞したい人、活動したい人など、誰もが町田で文化芸術に触れ、スタートを踏み出せるよう、そして、文化芸術の土壌を育んでいけるよう、目指す姿の副題を～町田で Let's stART～と定めます。

★目指す姿が実現しているまちのようす★

文化芸術のまちづくりによる  
まちのイメージ  
A3見開きでイラスト展開  
→計画概要版への誘導を兼ねる

文化芸術のまちづくりによる  
まちのイメージ  
A3見開きでイラスト展開  
→計画概要版への誘導を兼ねる

## 4 町田市の特色と文化芸術の推進経過

町田市の立地やまちづくりの動き、特徴的な施設などの優位性と、市のこれまでの文化芸術の推進経過を踏まえたうえで計画を策定とともに、これからの文化芸術のまちづくりに活かしていくため、主な特色と近年の取組を示しています。

### (1) 町田市の特色

#### ●文化芸術に親しめる環境が揃っています

町田駅周辺には都会的な賑わいがありながらも、北部には豊かな自然環境が広がっており、都市と緑のバランスがちょうどいいまちです。加えて、市域の外縁にはJR横浜線や小田急小田原線、東急田園都市線、京王相模原線の4路線が通り、首都圏の文化芸術の集積地である東京都心や横浜とは、いずれも30分程度で結ばれ、交通利便性の高い立地にあります。また、市内や近郊には、芸術系の大学や学部、専門学校が多くあり、文化芸術に親しめる環境が揃っています。



町田市 H P  
シティプロモーション  
“まちだってこんなまち”

#### ●一人ひとりが輝けるまちづくりを進めています

2022年にスタートした「まちだ未来づくりビジョン2040」では、誰もが夢を持ち、幸せを感じられるような未来をつくるため、ライフステージに応じて活躍できるまちづくりを進めています。また、「町田市性の多様性の尊重に関する条例（2023年）」や「町田市障がい者差別をなくし誰もがともに生きる社会づくり条例（2024年）」を施行し、一人ひとりが輝けるまちの実現を目指しています。



町田市 H P  
“まちだ未来づくりビジョン  
2040”



町田市 H P  
“性の多様性の尊重  
に関する条例”



町田市 H P  
“障がい者差別をなくし  
誰もがともに生きる  
社会づくり条例”

#### ●子どもにやさしいまちづくりを進めています

ユニセフが主唱する「子どもにやさしいまちづくり事業」の実践自治体（全国6市のうちの1市）として承認を受けています。近年は、これまでの“子どもにやさしいまちづくり”が実を結び、0～14歳の年少人口の転入超過数が全国トップを維持し続けており、多くの子育て家庭に選ばれています。さらに、2024年度には「子どもにやさしいまち条例」を施行し、子どもの参画等も積極的に進めています。



町田市 H P  
“子どもにやさしいまち条例”

## ●特徴的な文化芸術関連施設があります

町田駅近くの町田市民文学館ことばらんどでは、J-POP やマンガ、タイポグラフィー等、近代文学の範囲を超えた挑戦的な企画を多数実施しており、高い評価を得ています。また、芹ヶ谷公園には国内唯一、世界でも珍しい版画をテーマとした町田市立国際版画美術館があり、歌川広重の浮世絵等の国内外の著名作品を含む版画のコレクションが 3 万点以上収蔵されています。さらに、同公園で整備を進めている（仮称）国際工芸美術館は、美術品の魅力を広く伝えるとともに、美術活動をより身近に感じられる空間や、多様な創作活動が行える場として、版画美術館等と一体的な連携を図り、市民がいつでも自由に利用でき、鑑賞や創作・発表などの活動ができる開かれた美術館としていきます。



町田市 H P  
“町田市民文学館”



“国際版画美術館”



町田市 H P  
“（仮称）国際工芸美術館  
整備”

## ●町田駅周辺エリアのリニューアルの機運が高まっています

1970 年代から 80 年代の大規模再開発から約 50 年が経過し、町田駅周辺は街のリニューアルの時期を迎えており、再整備・再開発の検討が進んでいます。

「町田市都市集客機能整備方針（2024 年 3 月策定）」では、都市の集客機能を高めるため、ボップス系コンサートの貸館需要が見込める 2,000 人前後の音楽・演劇ホールを整備する方向性を示しています。また、「町田駅周辺開発推進計画（2024 年 6 月策定）」に基づいて、駅周辺の新たな賑わいづくりの核となる機能のイメージとして、目的地となるような魅力的なコンテンツを提供するエンタメ施設導入の検討が進んでいます。



町田市 H P  
“町田市都市集客機能  
整備方針”



町田市 H P  
“町田駅周辺開発推進計画”

## ●公共施設の複合化・多機能化等によって市民生活の質を高めようとしています

市内の多くの公共施設が整備から 40 年以上経過し、更新の時期を迎えています。多額の維持管理費の確保が課題となる中、将来にわたって必要な公共サービスを維持・向上させていくため、施設の複合化や多機能化、民間との連携強化、建物の長寿命化などを通じて、維持管理費の削減を進めるとともに、サービス水準を向上していくことで、市民生活の質を高める取り組みを進めています。



町田市 H P  
“公共施設マネジメント  
に関する取り組み”

## (2) 近年の文化芸術の推進経過





## 5 現状・課題を踏まえた方針と施策

社会状況の変化や町田市の特色、意識調査やヒアリング等を通じて、現状を把握・整理し、課題を洗い出しました。そして、課題解決に向けた文化芸術のまちづくりの方向性として「ポイント①～⑤」を整理しました。

### 社会状況の変化

- 文化芸術と様々な分野との連携が求められている。
- デジタル技術が進展し、文化芸術がより身近になっていている。
- 文化芸術を発信するチャンスが訪れている。
- 体験や特定の時間を重視する社会に移り変わっている。
- テーマ型コミュニティといった新たな社会的なつながりが生まれている。
- 企業の社会貢献活動が活発化している。

### 現状、意識調査・アンケート×みんなの想い

小規模のホールが充実している／全国レベルの演技や演奏が身边にある

文化芸術を鑑賞する人の割合が低い／文化芸術活動団体への新規加入者が少ない／子どもへの文化芸術体験が重要視されている

演劇表現活動に触れる機会を増やして文化芸術の町田に／活動を発表する機会を／若者に芸術文化の鑑賞と体験を／障がい者の文化芸術展示会があるといい

日本有数の美術品を保有している／民間の文化芸術活動が盛んで、多様に展開されている

文化芸術活動や資源の魅力がうまく伝わっていない／文化芸術分野においてデジタル技術を使った魅力発信が欠かせない／他の分野や地域・学校との連携した活動が少ない

文化芸術面の“町田らしさ”をもっと広報してほしい／版画美術館や文学館、生涯学習センターは他市より優れている／子どもが体験できるようなイベントがほしい

### 町田市の特色

- 文化芸術に親しめる環境が揃っている。
- 一人ひとりが輝けるまちづくりを進めている。
- 子どもにやさしいまちづくりを進めている。
- 特徴的な文化芸術関連施設がある。
- 町田駅周辺エリアのリニューアルの機運が高まっている。
- 公共施設を集約・複合化して市民生活の質を高めようとしている。

子どもや若者が文化芸術活動を始めやすい環境が揃っている／文化芸術活動の発表や練習の場の中心を担う市民ホールの老朽化／ポップ・カルチャーの郊外拠点となっている

市民の文化芸術活動が活発に行われている／町田エリアで音楽・演劇活動が活発に行われている

文化芸術のシンボルとなり、皆が憧れる多目的ホールがほしい／練習や制作する場がほしい／ダンスや音楽フェスなど、発表の場がたくさんあれば、町田での活動が広がる

他市を圧倒する量・質の美術品コレクションを所蔵している／（仮称）国際工芸美術館の整備を進めている／貴重な有形文化財や遺跡が数多く残っている／無形民俗文化財の担い手が不足している

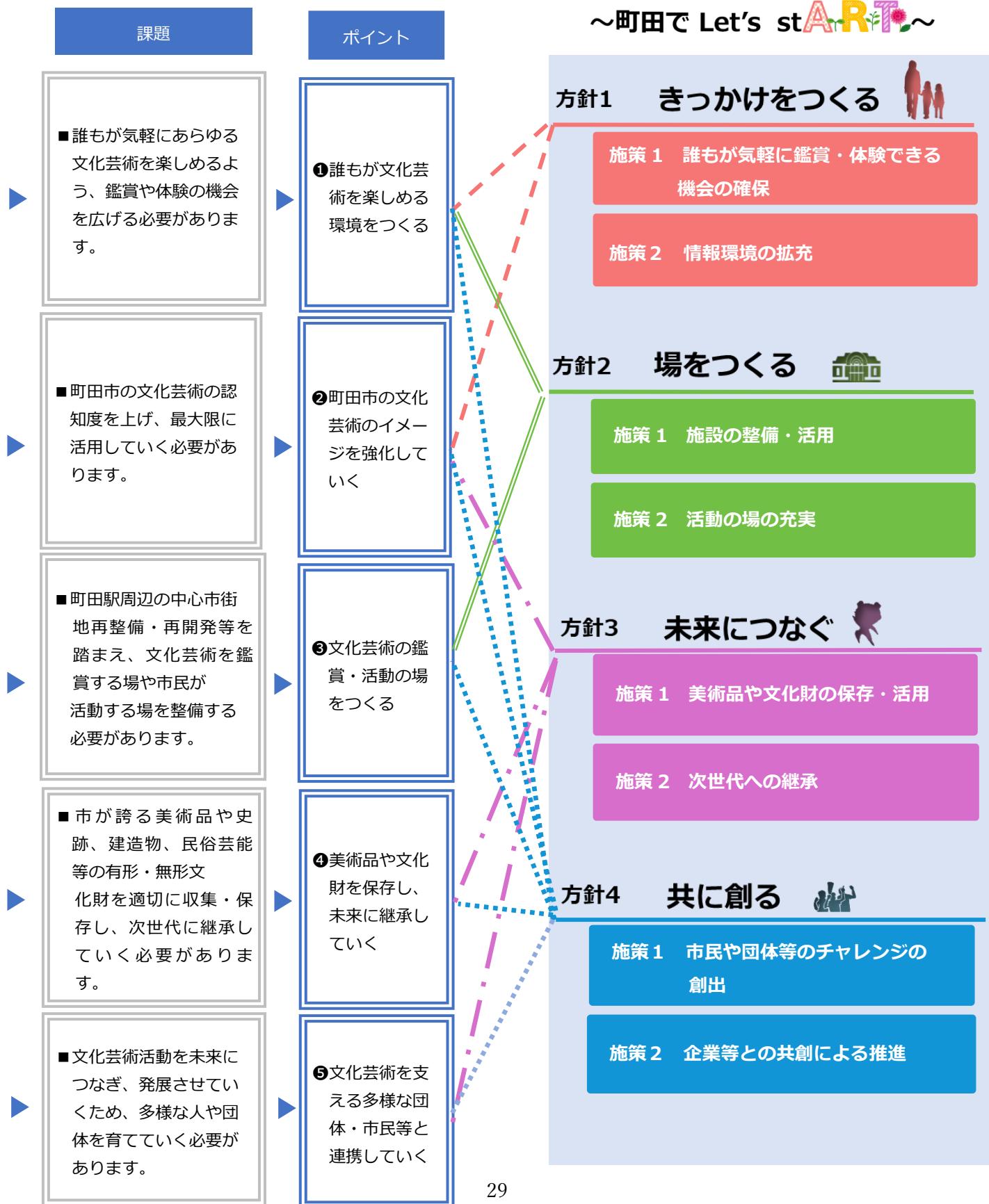
伝統芸能を継承するには小・中学生への教育が必要／学校ではやっていないので興味がある

市民が主体的に活動できる土壤が整っている／文化芸術団体の会員の高齢化に加え、会員数が減少している／若手アーティスト等が育つ環境がある

市と市民が協働できる仕組みをつくってほしい／多様性を尊重するような風土をつくって活動が活発になるといい

また、目指す姿「文化芸術を育み、笑顔咲くまち～町田で Let's stART～」を実現するために、どのようなまちづくりが必要かを検討し、4つの方針と各方針に2つの施策を設定しました。

## 文化芸術を育み 笑顔咲くまち ～町田で Let's stART～



## 6 計画体系

方針1～3に沿って、市が主体となり各施策を着実に進めるとともに、方針4を文化芸術のまちづくりを動かす推進力として位置づけ、市民や団体等のチャレンジを生み出し、多様な主体との共創を加速させます。こうした取り組みにより、市民や団体、企業等とともに目指す姿を実現し、文化芸術のまちを築いていきます。

さらに、方針1～4を横断する文化芸術プロジェクト「まちだ Smile-link project（スマイルリンクプロジェクト）」を立ち上げ、文化芸術のまちづくりを力強く前進させます。

### 文化芸術を育み 笑顔咲くまち ～町田で Let's stART.～

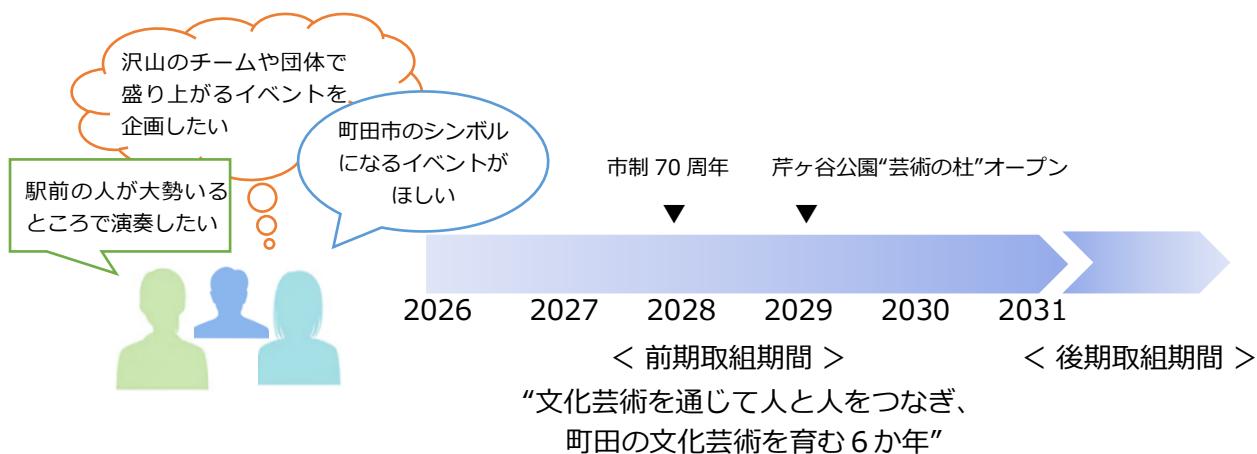


## 7 文化芸術プロジェクト

### ～まちだ Smile-link project (スマイルリンクプロジェクト) ～

「文化芸術を育み、笑顔咲くまち～町田で Let's stART～」の実現に向けて、文化芸術活動によって生まれた笑顔の輪を広げ、未来につなげていくため、前期の事業期間となる 2031 年度までを、“文化芸術を通じて人と人をつなぎ、町田の文化芸術を育む 6か年”と位置付けます。

そして、方針を横断したプロジェクト総称を「まちだ Smile-link project (スマイルリンクプロジェクト)」と定めて、A～Cの3つのプロジェクトを実行し、文化芸術のスタートを踏み出せるよう、きっかけをつくっていきます。また、実行にあたっては、リアルな体験はもちろん、デジタルの要素も活用し、融合させながら展開していきます。



#### Project A

文化芸術で“みんなの夢”を叶える

#### Project B

文化芸術大型イベントの実現

#### Project C

「文化芸術にぎわい創出エリア」の活性化

## Project A

### 文化芸術で“みんなの夢”を叶える

まちだ〇ごと大作戦 18-20<sup>+1</sup>やまちだ若者大作戦など、市民主体のまちづくりの経験を充分に活かし、来る 2028 年の市制 70 周年の節目を、文化芸術でまちが一つになる好機と捉え、文化芸術で“みんなの夢”を叶えるプロジェクトを実施します。

異なる分野の多様な主体がコラボレーションし、文化芸術を通じたまちづくりを前提として、みんなの夢（やりたいこと）を叶える仕組みを整え、実行することで、新たなコミュニティを形成し未来につながる活動を育んでいきます。



## Project B

### 文化芸術大型イベントの実現

地域や民間事業者等とコラボレーションし、町田市を象徴するような大型イベントを実施します。そのことで、まちの一体感を育み、イベントに関わる人、参加する人たちと喜びや感動を共有するとともに、憧れや関心を集めて、新たなチャレンジや Re : スタートを踏み出せるような、きっかけをつくります。

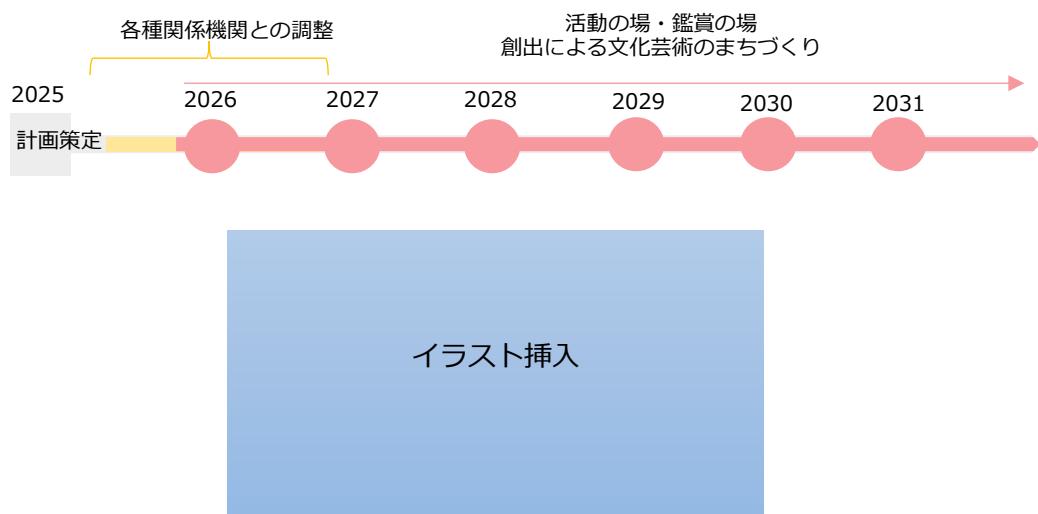


## Project C

### 「文化芸術にぎわい創出エリア」の活性化

「町田市中心市街地まちづくり計画」では、町田駅周辺の中心市街地における賑わいの創出に向けて、文化芸術を欠かせない要素として位置付けています。この方針を踏まえ、本計画では、町田駅周辺の再開発を見据えるとともに、文化芸術活動や関連施設が集積し、多様に展開されているこの地域のにぎわいをさらに活性化させるため、「町田市中心市街地まちづくり計画」の対象範囲を“文化芸術にぎわい創出エリア”と定めます。

また、再開発エリアにおいては、映画館の誘致や音楽・演劇ホールの導入を目指すとともに、公共空間における音楽や文化芸術活動の実施など、活動や鑑賞の場を整備することで、本エリアを拠点として市民の文化芸術活動や鑑賞の機会を広げ、市外からの来訪も促進し、市域全体へとにぎわいを波及させていきます。

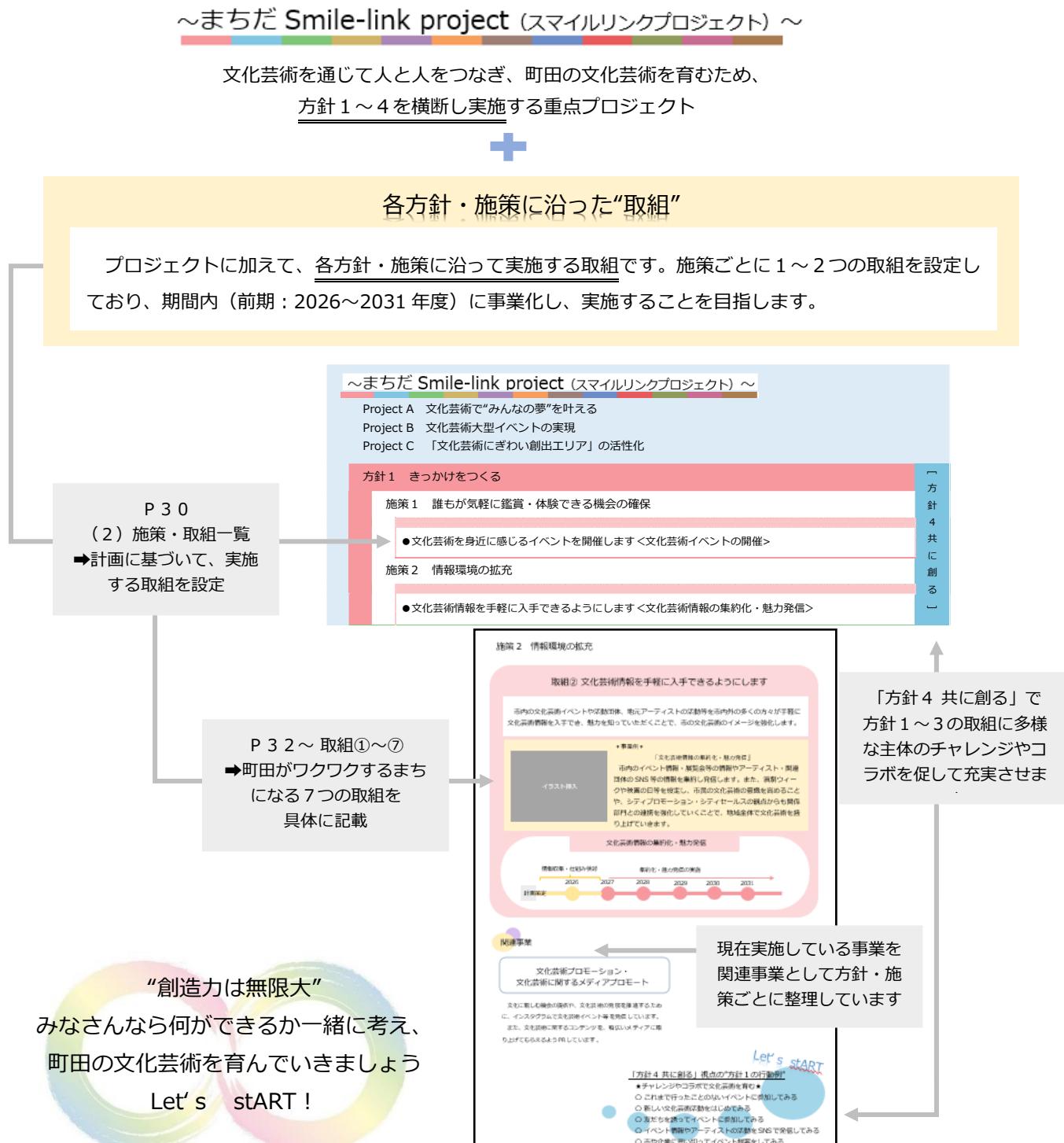




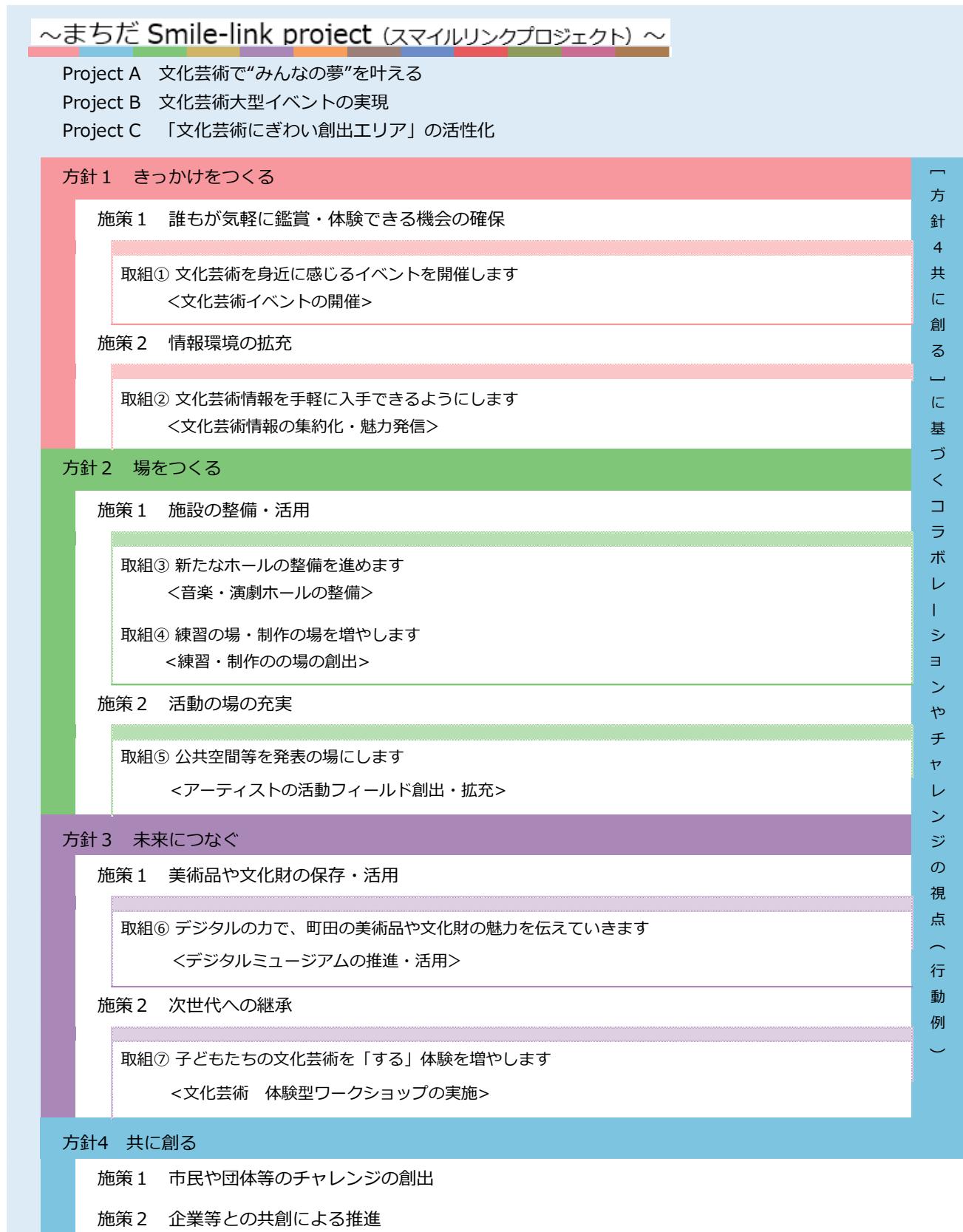
## 8 方針に基づく取組

市は、方針1～4を横断して実施する「まちだ Smile-link project（スマイルリンクプロジェクト）」に加えて、方針1～3に沿って施策ごとに取組を設定し、期間内に事業化し、実施することで、10年後に花開き「町田の特色」と言えるような文化芸術の種を育てていきます。

なお、取組の実施にあたっては、方針4に基づいて、多様な主体との共創やチャレンジを創出する視点を取り入れ、充実を図ります。



## ◆プロジェクト／方針・施策・取組一覧



## 方針 1

### きっかけをつくる

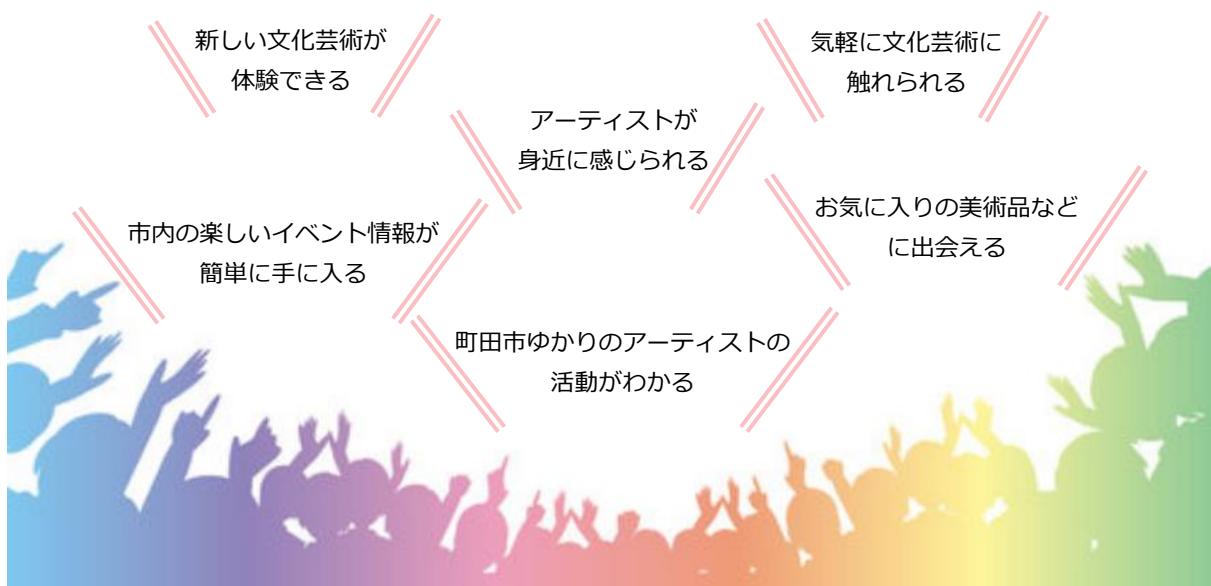
多様な背景や個性を持つ人々など、誰もが文化芸術活動をスタートしやすくなるよう、鑑賞や体験ができる環境を整えるとともに、そのきっかけとなる情報発信を積極的・効果的に行うことで、文化芸術が身近にある暮らしを実現します。

指標	市内で文化芸術活動・鑑賞する機会を持つことができた 市民の割合
----	------------------------------------



2026 年度から実施する「文化芸術イベント」や「まちだ Smile-link project」におけるプロジェクト A (2027 年度～2029 年度)・プロジェクト B (2028 年度) を実施することで、活動や鑑賞のきっかけをつくり、数値を高めていきます。

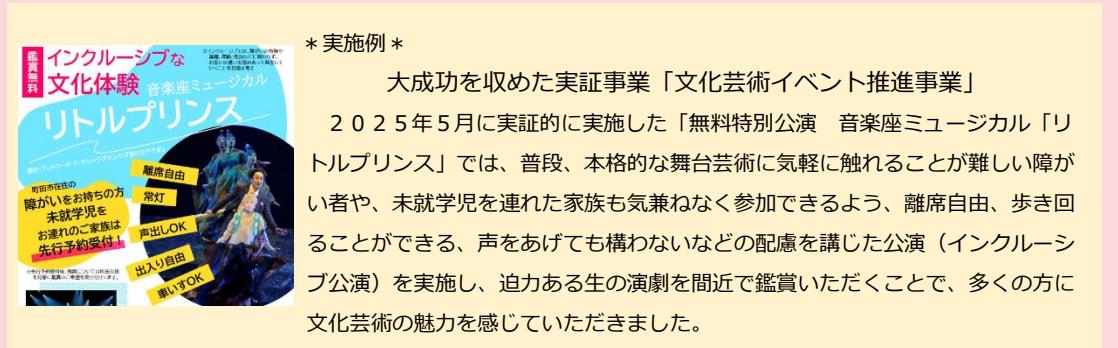
方針に沿ったまちづくりでふくらむ、いいこと



## 施策1 誰もが気軽に鑑賞・体験できる機会の確保

### 取組① 文化芸術を身近に感じるイベントを開催します

誰もが気軽に文化芸術に触れ、その魅力を体験できるよう、文化芸術イベントを開催します。また、さまざまな人々が一緒に楽しめる場をつくり、文化芸術を身近に感じる機会を広げるとともに、感動や特別な時間を得る機会を提供することで、はじめの一歩となるきっかけをつくります。



#### \* 実施例 \*

##### 大成功を収めた実証事業「文化芸術イベント推進事業」

2025年5月に実証的に実施した「無料特別公演 音楽座ミュージカル「リトルプリンス」では、普段、本格的な舞台芸術に気軽に触れることが難しい障がい者や、未就学児を連れた家族も気兼ねなく参加できるよう、離席自由、歩き回ることができる、声をあげても構わないなどの配慮を講じた公演（インクルーシブ公演）を実施し、迫力ある生の演劇を間近で鑑賞いただくことで、多くの方に文化芸術の魅力を感じていただきました。

### 文化芸術イベントの開催



### 関連事業

#### 芹ヶ谷公園“芸術の杜” 推進イベント

芹ヶ谷公園“芸術の杜”的再整備に向けて、多様な文化芸術活動や芹ヶ谷公園の豊かな自然に触れ、学び、楽しむことができる新しい体験型の公園を目指して、市民参加型のイベント（Future Park Lab（フューチャーパークラボ）など）を実施しています。

#### 地産地 SHOW

町田市ゆかりのアーティストの活動支援を行うとともに、多くの方々が、気軽に文化芸術に触れられるイベントを実施しています。

#### ふれあい落語・ コンサート

市内の市民センターを利用して、文化芸術に気軽に触れられるきっかけづくりとして、落語やコンサートを実施しています。

## 施策 2 情報環境の拡充

### 取組② 文化芸術情報を手軽に入手できるようにします

市内の文化芸術イベントや活動団体、地元アーティストの活動等を市内外の多くの方々が手軽に文化芸術情報を入手でき、魅力を知っていただくことで、市の文化芸術のイメージを強化します。

イラスト挿入

#### \*事業例\* 「文化芸術情報の集約化・魅力発信」

市内で開催されるイベントや展覧会の情報、アーティストや関連団体のSNSなどの情報を集約し、効果的に発信していきます。また、たとえば演劇ウィークや映画の日などのテーマ性を持たせた期間を設定することで、市民の文化芸術への関心を高めるとともに、シティプロモーションやシティセールスの観点からも、関係部門との連携を強化し、地域全体で文化芸術を盛り上げていきます。

#### 文化芸術情報の集約化・魅力発信



#### 関連事業

##### 文化芸術プロモーション・ 文化芸術に関するメディアプロモート

文化に親しむ機会の提供や、文化芸術の発展を推進するため  
に、インスタグラムで文化芸術イベント等を発信しています。

また、文化芸術に関するコンテンツを、幅広いメディアに取  
り上げてもらえるようPRしています。

#### 「方針4 共に創る」視点の「方針1 の行動例」

##### ★チャレンジやコラボで文化芸術を育む★

- これまで行ったことのないイベントに参加してみる
- 新しい文化芸術活動をはじめてみる
- 友だちを誘ってイベントに参加してみる
- イベント情報やアーティストの活動をSNSで発信してみる
- 市や企業に思い切ってイベント提案をしてみる

Let's START

## PICKUP!



### ～ 水曜午後の音楽会 ～

和光大学ポプリホール鶴川で開催されている「水曜午後の音楽会」は、若手演奏家の登竜門として親しまれているクラシック音楽イベントです。

開催は100回を超える2025年9月に開催された第106回では、弦楽四重奏団「Quartet Volatus（カルテット ヴォラトウス）」の大学生4名が出演し、表現豊かな演奏で観客を魅了しました。

午後のひととき、気軽に本格的な演奏を楽しめるこの音楽会は、地域住民にとって文化的な癒しの場となっています。入場料も手頃で、音楽ファンだけでなく、初めてクラシックに触れる方にもおすすめです。



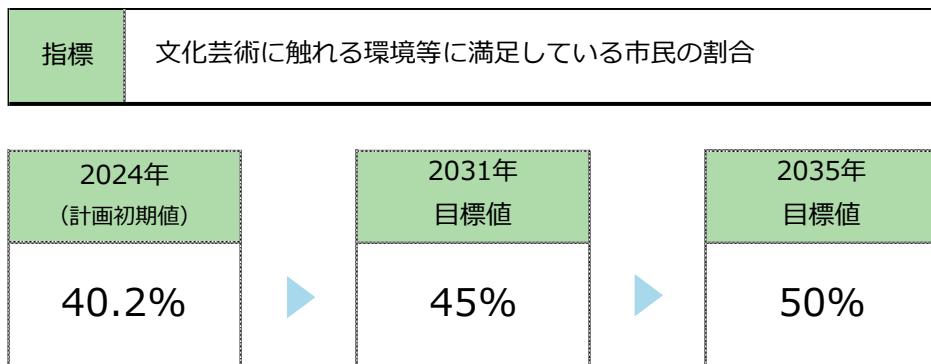
### ～ まちだアーティストバンク ～

「まちだアーティストバンク」は、町田市にゆかりのある文化芸術活動者を支援する登録制度です。

音楽、美術、演劇、伝統芸能、生活文化など幅広いジャンルのアーティストが登録されており、イベント主催者や市民が出演者を探す際にも活用できます。登録されたアーティストは、町田市民ホールと和光大学ポプリホール鶴川のホームページに掲載され、活動の場を広げるチャンスが得られるとともに、地域の文化振興に貢献する機会を得ることができます。

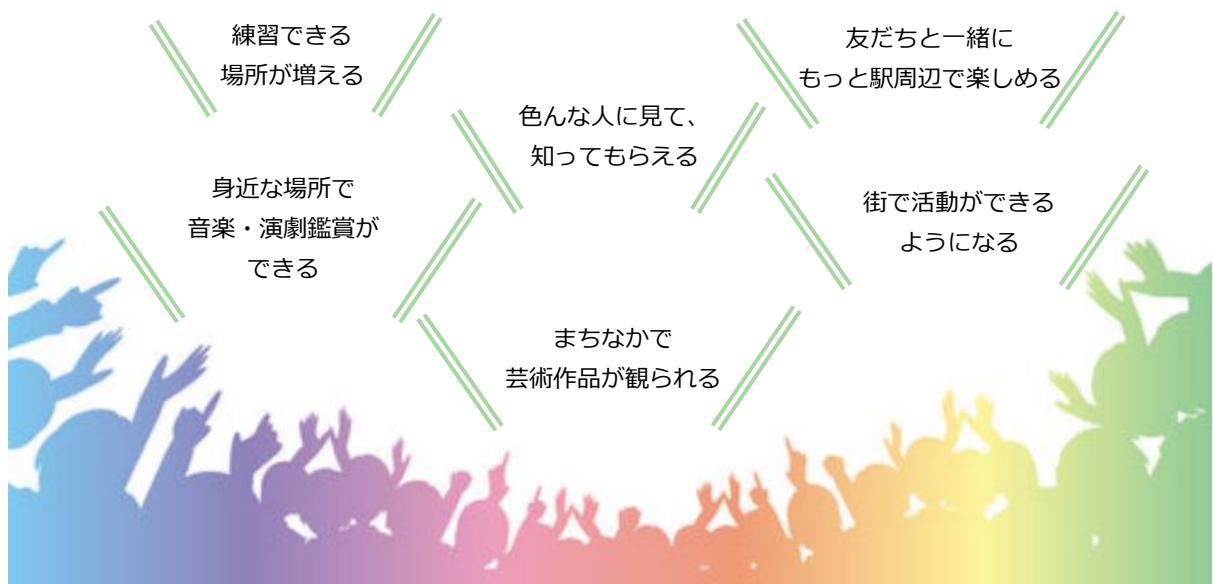
## 方針2 場をつくる

町田の立地や自然を活かした文化芸術の活動・鑑賞の場をつくるとともに、基盤となる拠点を整備・活用していきます。



文化芸術以外の公共施設をはじめ、民間施設や公共空間において文化芸術活動が行える新たなフィールドを増やしていくことや、芹ヶ谷公園“芸術の杜”「美術エリア」を整備することで、活動側も鑑賞側も更に満足できる環境を整えていきます。

方針に沿ったまちづくりでふくらむ、いいこと



## 施策1 施設の整備・活用

### 取組③ 新たなホールの整備を進めます

町田駅周辺では、民間事業者による再開発の機運が高まる中、映画館や音楽・演劇ホールなどの新たな都市機能を導入することで、エンターテイメントによる「誰かと一緒に楽しめるまちづくり」が進んでいます。

これまで整備を目指してきた文化芸術ホールについては、「文化芸術ホール整備に向けた基本的な考え方（2017年度策定）」に示した要素を踏まえながら、エンタメ施設としての音楽・演劇ホールとして整備を進めていくことで、国内外の人気アーティストの音楽や演劇を鑑賞する場をつくり、文化芸術の振興を図っていきます。

#### 音楽・演劇ホールの整備



### 取組④ 練習の場・制作の場を増やします

文化芸術活動のための新たな練習の場や制作の場を増やすため、文化芸術以外の公共施設等を活用できるようにします。

#### 練習・制作の場の創出



#### 関連事業

##### 芹ヶ谷公園“芸術の杜” 「美術エリア」の整備

町田らしい多様なアート・カルチャーを体现する魅力的な企画やイベントが、美術館にとどまらず、緑あふれる公園の空間やまちなかと一体となって展開されている“芸術の杜”ならではの美術館等を整備しています。

##### 地域センター諸室の 貸出

市民活動や文化活動のため、市民センター・コミュニティセンターのホールや音楽室、会議室等の諸室を貸し出しています。

## 施策 2 活動の場の充実

### 取組⑤ 公共空間等を発表の場にします。

公共空間等において、アマチュアからプロまで幅広い表現者（アーティスト）が発表できる場を創出することで、創造性を高めるとともに、市民が日常生活の中で自然に文化芸術に触れ、賑わいを感じられるまちづくりを推進します。

イラスト挿入

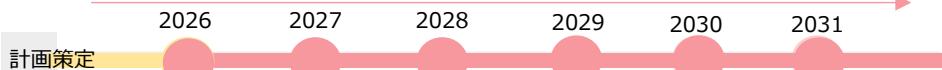
\*事業例\*

「アーティストの活動フィールド創出・拡充」

道路空間やみどり空間等において、音楽活動やストリートパフォーマンス、アート活動、作品展示など、まちなかの様々な場所をアーティストの活動フィールドとしていくことで、アーティストの可能性を広げていきます。

#### アーティストの活動フィールド創出・拡充

関係機関との調整・場所の選定・実施



#### 関連事業

みんな笑顔の展覧会

活動成果、  
演芸・作品発表会

小・中学校連合音楽会、  
連合演劇発表会

市内の障がい福祉施設で、生活指導の活動取り組みから、様々な工作品を作成している事業所が多くあります。利用者が制作する作品類を集めて、市役所イベントスタジオにて展示し、障がい者福祉施設の魅力を周知、PRしています。

生涯学習センターでは、センターで活動するサークルや団体の日頃の活動成果を発表する生涯学習センターまつりを実施しています。また、ふれあい館では、利用者による演芸や作品発表、盆踊りを実施しています。

市立の小・中学校が合同で、合唱・吹奏楽・演劇などの発表を町田市民ホールで行っています。

#### 「方針4 共に創る」視点の「方針2の行動例」

★チャレンジやコラボで文化芸術を育む★

- お気に入りの活動場所をシェアして賑やかにしてみる
- 新しいホールの舞台に立てる一流アーティストを目指してみる
- 文化芸術活動の場として店舗等の場を提供してみる
- コミュニティアートを活用したまちづくりを実践してみる
- 公共空間のアートで多くの人を癒してみる

Let's start

## PICKUP!

コラム挿入

(芹が谷公園“芸術の杜”整備)

### ～ 町田市民文化祭 ～

町田市民文化祭は、市民が主役となって文化芸術を「見て・聴いて・参加」できる、町田市最大級の文化イベントです

毎年秋に開催される「秋の催し」では、舞台・展示・文芸の3部門が一堂に会し、町田市民ホールやまほろ座 MACHIDA を会場に多彩なプログラムが展開されます。

2025年第47回のテーマは「かがやく未来へ」。市内外から訪れる人々が、文化を通じて未来への希望を感じられる場となっています。入場は無料で、誰でも気軽に楽しめるのが魅力です。市民の創造力と地域の文化力が結集するこの祭典は、町田の魅力を発信する重要な機会となっています。



### 方針3

#### 未来につなぐ

市の貴重な資産であり、歴史を物語る美術品や文化財を保存・活用します。また、文化芸術活動が続けられてきた土壌を守り、文化芸術を担う人財のもつ技術や想いを次世代につなげていきます。



市が誇る美術品や文化財をデジタルアーカイブ化し、現在の保存・活用状況を見て、知って興味を持つてもらうことや、実際に文化芸術を「する」体験を増やすことで、未来に残していく大きさを学び、継承と保存に関する割合を高めていきます。

方針に沿ったまちづくりでふくらむ、いいこと



## 施策1 美術品や文化財の保存・活用

### 取組⑥ デジタルの力で、町田の美術品や文化財の魅力を伝えていきます

市が誇る美術品や考古・歴史・民俗資料等を適切に保存するとともに、デジタルアーカイブ化して活用することで、その魅力や町田の歴史に興味を持ってもらい、未来に残していきます。

画像挿入

#### \*事業例\* 「デジタルミュージアムの推進・活用」

市が収蔵する日本有数の美術品をデジタルアーカイブ化し、市内外のより多くの方々に知ってもらい、魅力を伝えることで、実際に見て、楽しんでいただけるような仕掛けを開発していきます。また、現在公開している考古・民族・歴史資料等の町田デジタルミュージアムを、学校教育やイベント等に活かし、歴史や文化への理解を深めることで、次の世代につなげていきます。

#### デジタルミュージアムの推進・活用

美術品のデジタルアーカイブ化、  
町田デジタルミュージアムの推進・拡充



#### 関連事業

##### 美術・工芸の魅力を伝える 展示の実施

国際版画美術館の歌川広重の東海道五拾三次などの版画作品コレクションや、博物館の東南アジアの陶磁器コレクション、ボヘミアン・グラスなどの工芸品を展示しています。

また、国際版画美術館では、企画・特集展示として、講演会、ギャラリートーク、鑑賞イベント、製作を伴うイベントやコンサートなど、通年で美術や工芸の魅力を伝えています。

##### 文化財、歴史資料の デジタル公開

町田市が収蔵する2,000点以上の考古、歴史、民俗資料をインターネット上で閲覧できるサービス「町田デジタルミュージアム」を公開し、いつでも、どこでも町田の歴史を楽しめる環境を提供しています。

##### 市域資源を活かした展示

本物に触れることができるよう、市立自由民権資料館や考古資料室、三輪の森ビジターセンター内郷土資料展示室、本町田遺跡公園ガイダンスルームにて、土器や古文書、民具などの資源を活用した展示を実施しています。

## 施策 2 次世代への継承

### 取組⑦ 子どもたちの文化芸術を「する」体験を増やします

アーティストとの共演や共作、伝統文化等の体験を通じて、未来に歴史や技術等を受け継いでいくよう、文化芸術を「する」体験の機会を提供していきます。

イラスト挿入

\*事業例\* 「体験型ワークショップ等の開催」  
子どもたちとアーティストとの共演や共作等が行える体験型のワークショップを開催し、市内で育まれてきた歴史やアーティストが研鑽してきた技術等を学び、受け継いでいきます。加えて、STEAM 教育を推進する学校等で町田の文化芸術、ひいては日本文化芸術の品質や美意識の高さを学ぶ機会を設け、問題解決能力や創造力、表現力を培うことを通じて、伝統文化等の伝承につなげていきます。

#### 体験型ワークショップ等の開催



#### 関連事業

##### 工芸制作プログラム

子どもたちが工芸美術に親しめる環境をつくるため、学校と連携して、工芸制作プログラムを実施しています。

##### 子どもたちの体験学習

読み聞かせ、茶道体験、華道体験、伝統文化等の文化芸術体験や、講師から話を聞く機会を各学校で実施することで、未来につなげています。

#### 「方針 4 共に創る」視点の「方針 3 の行動例」

★チャレンジやコラボで文化芸術を育む★

- デジタルアーカイブや実際に見て、知って、文化財の保存方法について学んでみる
- 市外や外国の方々に町田の特色ある美術品や文化財を紹介してみる
- 学校の授業のテーマとして取り入れてみる
- 伝統文化等を子どもや若者たちに幅広く教えてみる

Let's start

## PICKUP!

コラム挿入

(鶴川ショートムービーコンテスト)

## 方針4

### 共に創る

若者や市民、文化芸術団体、大学や企業等と共に、文化芸術を創作する機会やチャレンジできる場をつくり、エンターテインメントの要素を取り入れたまちをつくります。

#### 施策1 市民や団体等のチャレンジの創出

#### 施策2 企業等との共創による推進

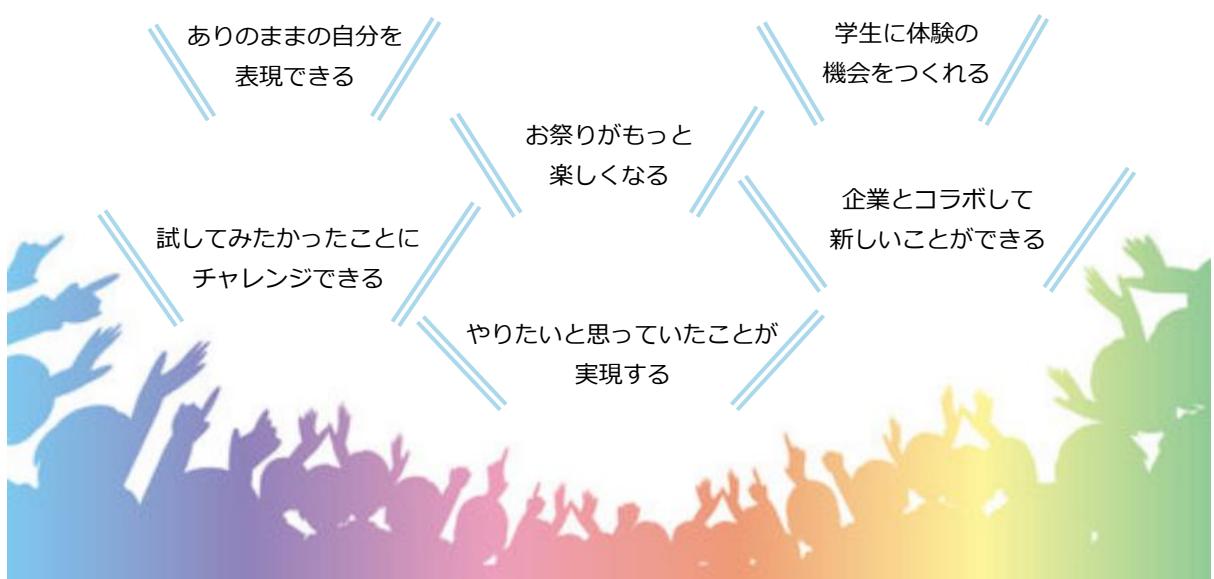
→“チャレンジ”や“コラボレーション（共創）”の視点で、方針1～3の充実を図ります

指標	文化芸術活動にあたり、他分野の団体や企業、大学等と連携した活動に取り組んでいる市民の割合
----	--



「まちだ Smile-link project」のプロジェクトAや、方針1～3の各施策の取組において、チャレンジやコラボレーションできる機会・場を増やしていくことで、文化芸術活動にあたって他分野との連携を促し、数値を高めていきます。

方針に沿ったまちづくりでふくらむ、いいこと



## PICKUP !

コラム挿入

(まちカフェ)

コラム挿入

## 9 計画の推進にあたって

### (1) 庁内関係部署との連携・推進

文化芸術のまちづくりの推進にあたっては、観光や福祉、教育その他の各関連分野が、それぞれの知識やネットワークを活かしながら横断的に連携することができるよう、情報共有の場を設けます。

また、計画を進捗管理し、実行の旗振り役となる文化振興課がプロジェクトマネージャーとなって、市民や団体、企業や大学等との橋渡しを行い、各部門と調整し、文化芸術の輪を広げていきます。

### (2) 「町田市文化芸術のまちづくり推進委員会」と施策・取組の評価

各関係主体の代表で構成される「町田市文化芸術のまちづくり推進委員会」を設置し、毎年度、文化芸術の現状や各主体の認識を共有します。あわせて、これまでの実績の振返りや評価を行い、その結果を当該年度および翌年度の取組に反映させることで、計画の着実な推進を図ります。

なお、施策・取組の振返りや評価にあたっては、

- ① 指標の評価：実施した取組等が方針ごとに設定した指標にどの程度影響を与えたか
- ② イベント等の活動者や鑑賞者（参加者）による評価はどのようなものであったか
- ③ 実施する取組等のプロセスやイベント等の質はどうであったか

など、現状の声やプロセス等を重視した評価を実施するとともに、各関係主体との連携を検討することで、地域一体となった文化芸術のまちづくりを推進します。

【3つの観点からの総合評価による施策・取組の推進】

